

人に、街に、地球にうるおいを  
Japan Beverage Report

# 2012



Japan Beverage

# ジャパンビバレッジグループの概要

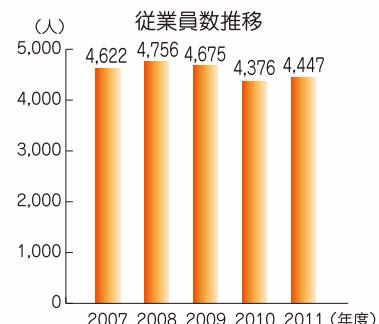
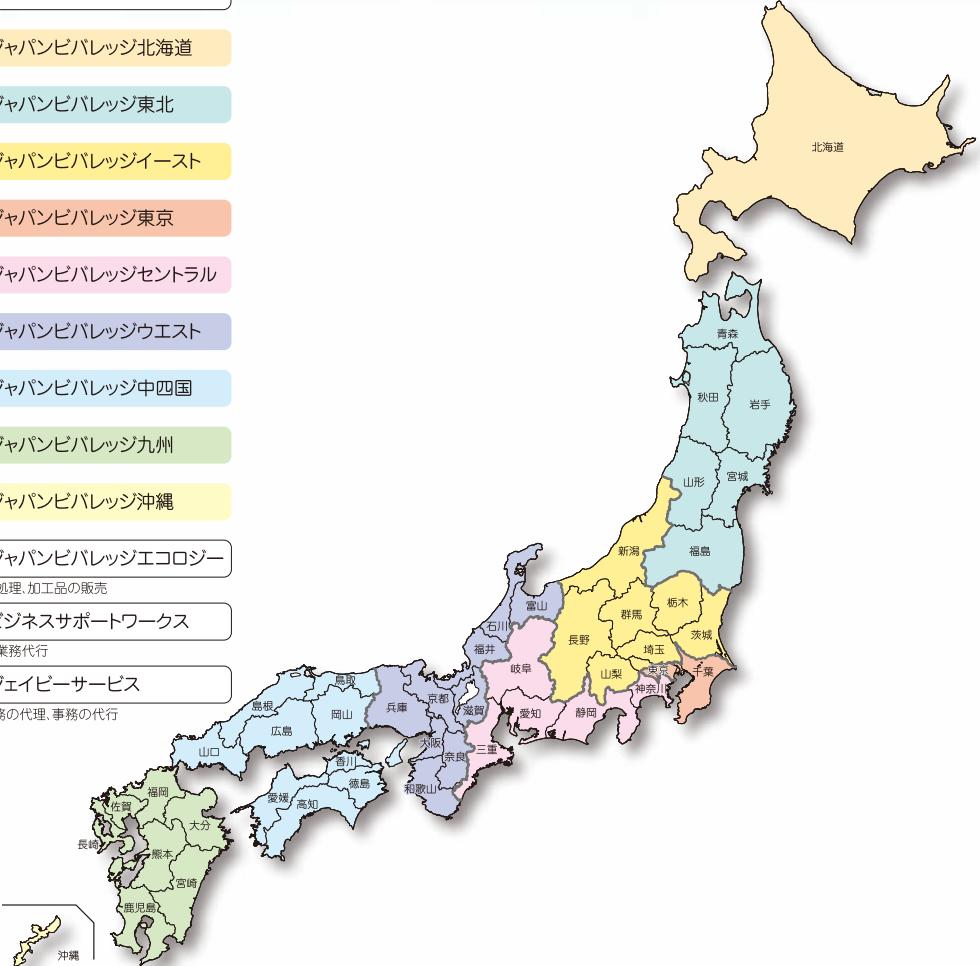
## ジャパンビバレッジホールディングスの事業概要

- 名 称 ● 株式会社ジャパンビバレッジホールディングス  
本 社 ● 東京都新宿区西新宿1丁目24番1号 エステック情報ビル  
創 売 ● 1958年7月  
※組織改編に伴い、2010年7月ジャパンビバレッジホールディングスを設立  
資 本 金 ● 5億円  
事業内容 ● グループ全体の経営戦略の策定・推進、自動販売機による各種食品飲料の販売

## ジャパンビバレッジグループ

### 株式会社ジャパンビバレッジホールディングス

- 株式会社ジャパンビバレッジ北海道
- 株式会社ジャパンビバレッジ東北
- 株式会社ジャパンビバレッジイースト
- 株式会社ジャパンビバレッジ東京
- 株式会社ジャパンビバレッジセントラル
- 株式会社ジャパンビバレッジウエスト
- 株式会社ジャパンビバレッジ中四国
- 株式会社ジャパンビバレッジ九州
- 株式会社ジャパンビバレッジ沖縄
- 株式会社ジャパンビバレッジエコロジー<sup>飲料容器の再生処理、加工品の販売</sup>
- 株式会社ビジネスサポートワークス<sup>各種事務作業の業務代行</sup>
- 株式会社ジェイビーサービス<sup>各種保険業と業務の代理、事務の代行</sup>



※各年4月1日時点の人数です。

# Contents

ジャパンビバレッジグループの概要	P 1
編集方針	P 2
トップメッセージ	P 3
ジャパンビバレッジグループの事業紹介	P 5
ジャパンビバレッジグループの取組み	
① 自動販売機を通して、 エコソリューションをお届けする	P 7
② 飲料空容器再資源化工場 「リサイクル・プラザJB」	P 9
③ より良い未来にむけ、 子供たちに伝えづげる	P 11
④ 企業の垣根を越えて、 サステナビリティを目指す	P 13
環境マネジメント・パフォーマンス報告	P 15
各地域での取組み	P 18

## 編集方針

本レポートは、ジャパンビバレッジグループの理念や事業の現状と環境の取組みを紹介する「環境報告」を、ステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えすることを目的に発行しています。

### ■ 参考ガイドライン

環境報告ガイドライン2012年版

### ■ 報告対象期間

2011年4月1日～2012年3月31日

※一部、対象期間外の取組みも紹介しています。

### ■ 報告対象範囲

ジャパンビバレッジグループ

※環境報告データの対象範囲が異なる場合は、範囲を別途記載しています。

### ■ 発 行

2012年9月

(次回2013年8月予定)

## Top message

人に、街に、地球にうるおいを—  
より良い未来づくりに  
貢献していきます

### 自動販売機専業オペレーターNo.1企業として

1958年の創業以来、ジャパンビバレッジグループは自動販売機専業オペレーターとして、お客様に魅力ある商品と最高のサービスを通じて人々にうるおいを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造し続けてまいりました。現在では、25万台の自動販売機を全国に設置・運営させていただいている、名実ともに自動販売機専業オペレーターNo.1企業として、多くの方々よりご支持をいただいております。

今後は自動販売機専業オペレーターの立場を堅持しながら、“総合食品オペレーター”としてさらなる飛躍をすべく従業員一同邁進してまいりますので、末永いご愛顧を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

### グリーン・オペレーションの実施

ジャパンビバレッジグループは、自動販売機専業オペレーターNo.1企業として「環境」への取組みもNo.1でありたいと考えております。

「グリーン・オペレーション」を基本テーマに掲げ、事業

活動に伴う環境への負荷低減を目指し、これまでにさまざまな環境保全活動に積極的に取組んでまいりました。

2011年度は環境負荷低減として、CO<sub>2</sub>の排出削減に取組んでまいりましたが、自動販売機は対前年度比▲3.4%、車輌燃料は対前年度比▲3.6%、事業所電力は対前年度比▲12.6%といずれも前年度を下回り、目標を達成することができております。

こうした取組みは、今後も継続して実施してまいります。まず、事業活動の要である自動販売機につきましては、小型カップ式自動販売機やヒートポンプ機などの省エネタイプの自動販売機を積極的に導入・展開してまいります。また、車輌につきましては、低公害車の継続導入と、電気自動車の新規導入により排気ガスおよびCO<sub>2</sub>の発生抑制を図ってまいります。

飲料空容器の資源循環につきましては、飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」の運営と全国180社の企業と連携した「リサイクルネットワーク」の運用により、飲料を販売する者の責任として着実な取組みを継続してまいります。



さらには、地球温暖化防止に向けた再生可能エネルギーの活用を含むさまざまな施策を検討・実施してまいり所存でございます。

### 潤いと喜びに満ちた 持続可能な社会の創造を目指して

私たちジャパンビバレッジグループは、これからも従業員一人ひとりが「グリーン・オペレーション」を実施することで、この先の事業の成長と持続可能な社会の実現につなげてまいります。すべての取組みをCSRの一環として捉え、美しい未来をつくりあげていく一助となるよう活動していくことでステークホルダーの皆様のご期待に応えてまいります。

今後ともご支援ご指導をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス

代表取締役社長 潤一

#### 経営理念

私たちは、魅力ある商品と最高のサービスを通じて人々に潤いを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造します。

#### モットー

##### 1 「いちばん」を大切にします。

業界No.1のサービスと業績を目指します。

##### 2 「もっと」を大切にします。

明日はどうすれば、今日よりもっとよくなるかを考え、行動します。

##### 3 「ちゃんと」を大切にします。

ちゃんとした管理・サービス・行動により高品質を維持し、信頼と安全をお届けいたします。

##### 4 「やさしさ」を大切にします。

環境にやさしく、地域社会に歓迎されるよう努力を惜しません。

##### 5 「あなた」を大切にします。

喜びの創造に向け、“生き活き”とした魅力ある職場をつくります。

# ジャパンビバレッジグループの事業紹介

ジャパンビバレッジグループは、業界No.1の自動販売機専業オペレーターとして、魅力ある商品と最高のサービスを提供するとともに、環境に配慮したさまざまなサービスをお届けしています。

本格コーヒーをお手軽に!

## 紙カップ式自動販売機事業

本格レギュラーコーヒーをはじめとしたバラエティーに富んだ商品を取り揃え、極め細やかなオペレーション体制により最高品質の味をご提供しています。



5



手軽に飲める、食べられる!

## パッケージ自動販売機事業

パッケージ事業は、缶、ペット、プリック、ヌードル、その他お菓子等製品化された商品を扱っています。お客様のニーズを掘り下げ、豊富な商品の品揃えの提供とサービスの充実により他社との差別化を図っています。

もっと便利に、もっと美味しく

## リテール事業

毎日過ごすオフィスだから…もっと便利にもっと美味しく!当社の給茶機は新技術「マジックポット」で約49%(従来機比)の省エネを実現しています。環境にやさしい、茶殻がない粉末タイプの給茶機です。



# 「提案・販売・回収・適正処理・資源再生」をトータルコーディネート

お客様に「選んで良かった」と安心してご利用いただくために、さまざまな取組みを行っています。

各種自動販売機をお客様のニーズや設置場所に適したご提案をいたします。また、自動販売機に関するさまざまな環境負荷低減の取組みも行っています。(詳しくは、【取組み1(p7-8)】へ)

## 自動販売機の一例



JBC-2機

本格的なエスプレッソが楽しめるJBC-2機は、2003年度省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」を受賞。



コンビ機

ヒートポンプ方式、独自の温度設定で省エネを実現。



給茶機

新技術の「マジックポット」導入により、49%省エネ(従来機比)を実現。

老朽化した自動販売機や飲料空容器は、最大限のリユース・リサイクルを推進しています。



## 適正処理 ・ 資源再生

### 自動販売機

#### 自動販売機の廃棄処理

廃棄時は、専門処理業者にフロン回収・破壊の処理をお願いし、自動販売機解体後は素材ごとの再資源化に取組んでいます。

#### 解体後の再資源化

金属	プラスチック類	蛍光灯	電池
製鉄原料	石膏原料 路盤材 セメント原料	蛍光灯 断熱材 製鉄原料	製鉄原料

## 提案・販売

## 安全運転とエコドライブで お客様先を訪問

オペレーションに使用する車輌は、低公害車・ハイブリッド車を計画的に導入しています。



自動販売機の横に設置している「回収ボックス」の中の飲料空容器をきちんと回収し、営業拠点に持ち帰ります。

## 2 収



### 飲料空容器

#### 新たな資源に再生

回収した飲料空容器は、リサイクルネットワーク企業によって収集運搬・適正処理され、さまざまなものに再生しています。



飲料容器 ベレット ティッシュ ポールペン

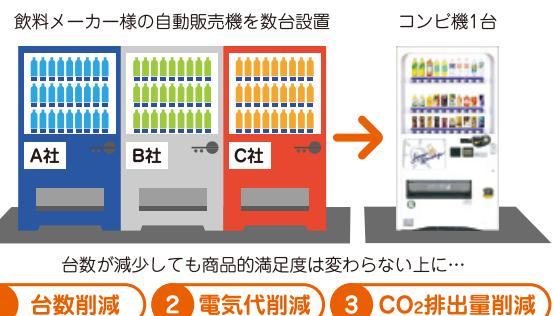
# 自動販売機を通して、 エコソリューションをお届けする

ジャパンビバレッジグループは、自動販売機をお客様にお届けする時も、お届けした後も地球環境への配慮をご提案しています。

## 省エネ・省スペース

### 自動販売機設置台数の最適化

各飲料メーカーの売れ筋商品をラインナップした自動販売機「コンビ機」は、1台で複数の飲料メーカーの商品を楽しむことができます。電力使用量の削減やスペースの有効利用が図れます。



## 省エネ・省スペース

### 省エネ機の対応

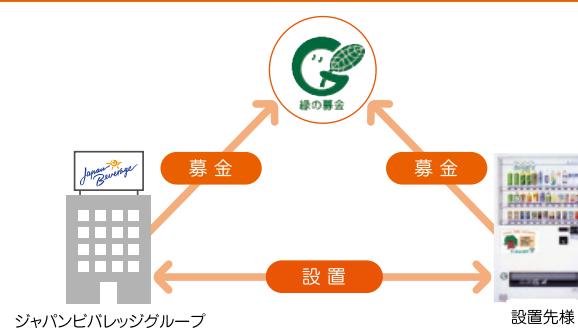
7



## 森林保全

### 「緑の募金」つき自動販売機

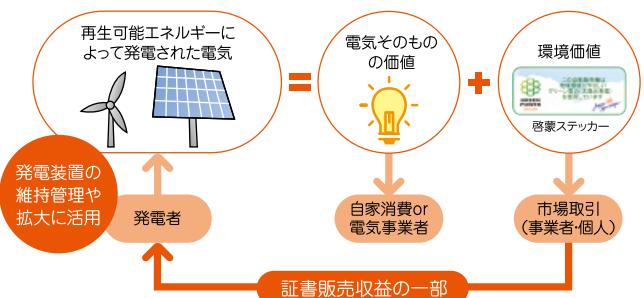
飲み物を飲むことで森林保護活動に参加できる「緑の募金」付き自動販売機を展開しています。集められた募金は、さまざまな森づくり(森林整備、緑化推進等)に役立てられています。



## 再生可能エネルギー

### 自動販売機の消費電力量に 「グリーン電力証書」を活用

太陽光や風力などの再生可能エネルギーが生みだす電気による「環境価値」を見る化し、市場での取引を可能にしたもののが「グリーン電力証書」になります。この仕組みは、東京都「総量削減義務と排出量取引制度」の再エネクレジットにも活用可能です。



## 福祉

### エコ&ハローキャンペーンで 環境と福祉を両立!

「環境」と「福祉」を融合させた活動として「エコ&ハローキャンペーン」を実施しています。自動販売機をご利用いただく皆様にアルミ缶21,000個を集めていただくと、車いす1台と交換できる仕組みをつくり、運用しています。

分別収集の推進を図れるだけでなく、車いすを学校や各施設へ寄付することにより福祉にもお役立ちできる取組みです。



## 安心・安全

### フルオペレーションサービス

商品の品揃え・商品補充・自動販売機と自動販売機周りの清掃・空容器の回収・売上金の回収・釣銭の補充・自動販売機故障時の対応など自動販売機に関わるすべてのことを行っています。また、定期的に自動販売機の殺菌・洗浄を行うサニテーション(消毒作業)も実施しています。



## 適正処理・資源再生

### リサイクル・適正処理の見える化

各支店・営業所にて「リサイクル・廃棄物処理フロー図」を作成しています。お客様先の自動販売機から発生する「飲料空容器」はどこに運ばれ、どのようにリサイクル・処理されているのかの情報提供が可能となっています。



## Topic

### 東日本大震災以降の電力不足への対応

東日本大震災の発生以降、夏の電気使用制限や原発稼働問題の影響等により電力不足が社会問題となり、節電・省エネという意識が高まっています。ジャパンビバレッジグループは、自動販売機のピークカット機能(冷却機の一時停止)や蛍光灯の消灯による節電、高機能自動販売機の導入、およびコンビニによる台数集約提案等を実施しています。

# 飲料空容器再資源化工場 「リサイクル・プラザJB」

飲料空容器の中間処理を総合的に行う「リサイクル・プラザJB」を2003年から稼働しています。

## 枯渇する天然資源

ジャパンビバレッジグループは、自動販売機を通じて飲料を販売し、日々皆様にうるおいと喜びを提供しています。飲み終わった後の飲料空容器は、以前は廃棄物として処理されていましたが、今では大切な資源として有効利用しています。飲料容器の原材料である石油・鉄鉱石・ボーキサイト等は、地球がうみだした天然資源で、人間の手ではつくりだすことができません。ジャパンビバレッジグループは、この限りある天然資源を大切に使うために、業界に先駆けて循環型産業の構築に向けて取組んできました。



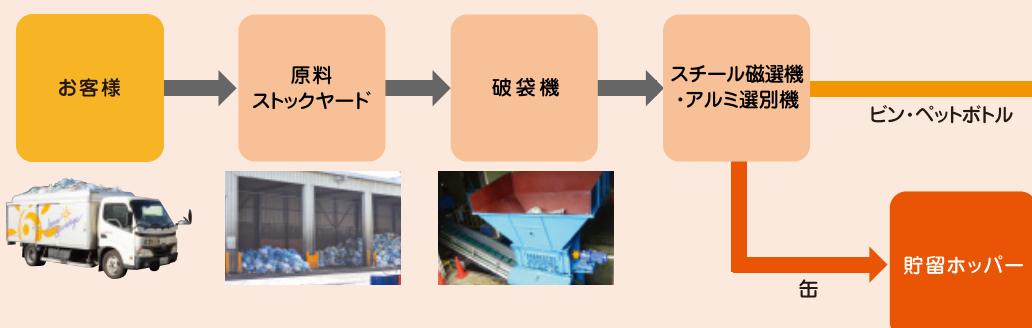
## 「リサイクル・プラザJB」 を設立

1999年から計画・立案を開始し、2003年5月に飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」(埼玉県さいたま市)を設立。「飲料空容器」の再資源化に自ら着手しました。当工場は、東京都・埼玉県・千葉県・群馬県にある各拠点から排出される缶・ビン・ペットボトルの中間処理を実施しており、2011年度の年間処理量は8,934トンとなっています。また、2003年の竣工時からの累計処理量は62,681トンとなり、リサイクルの成果をあげています。

再資源化量  
**累計62,681t**

Recycle Plaza JB

リサイクル・プラザJB  
飲料空容器再資源化フロー



## 「廃棄物ゼロ」を目指して



金属加熱炉

高温不活性ガスを循環させて缶類を熱処理する還元乾留加熱炉です。無酸素状態でスチールやアルミから塗料を取り除き、金属を熱膨張させ造粒機による破片処理を容易にします。

## 「金属加熱炉」で、素材ごとの原料化を実現!

「リサイクル・プラザJB」の最大の特徴は、缶を金属加熱炉にて「ペレット」に再生加工しているところです。この処理により、素材ごとの再資源化が可能になるのです。

スチール缶の上部タ「アルミ」の部分は、通常の中間処理であるプレス加工では「アルミ」として分けることができません。

しかし、金属加熱炉で缶を蒸し焼きにすることで、熱膨張率の差から上部タがはがれやすくなり、その後、造粒機と磁選機にかけて、スチール缶本体と底の部分は「スチールペレット」に、上部タ部分は「アルミペレット」に加工することができます。

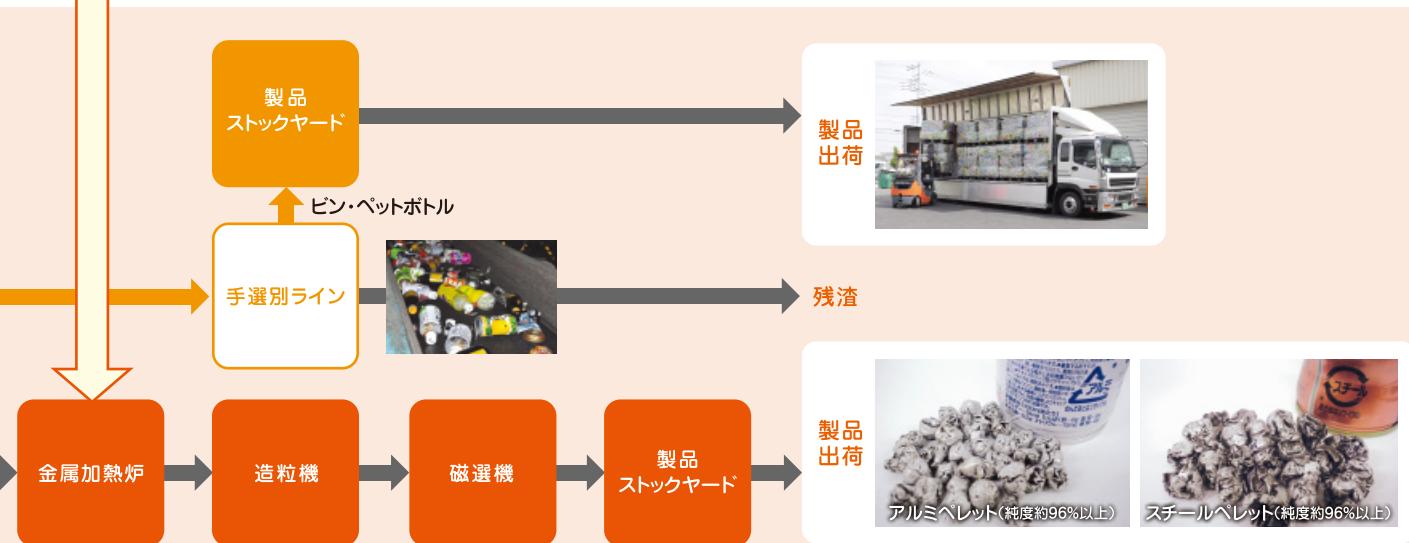
素材ごとに再資源化したペレットは、非常に純度が高いため製鉄会社にて原材料や副原材料に利用いただいている。

飲料事業者が運営する飲料空容器再資源化工場でこのような手法を用いているのは、「リサイクル・プラザJB」のみとなっています。

現在の課題として、自動販売機の横に設置している「回収ボックス」が「ゴミ箱」とみなされ、飲料空容器以外のゴミが混入していることがあげられます。そのため、今後は、「ゴミ箱」ではなく「リサイクルボックス」としての認識を高めていくことに努め、引き続き循環型産業の構築を目指していきます。

## 「彩の国工場」への指定

2011年9月には、埼玉県より豊かな彩の国づくりのパートナーとして県内の技術力や環境面で優れた工場を指定する「彩の国工場」に指定されました。



# より良い未来にむけ、 子供たちに伝えつづける

環境への取組みを知ってもらうために、また地域社会の一員としてさまざまな社会貢献活動に取組んでいます。



来場者数  
**約8,700名**



出前授業実績  
**16件**



## 工場見学で、 環境学習も体験!

「リサイクル・プラザJB」では、積極的に工場見学を受け入れています。学校等の団体、個人での見学を含め、これまでに約8,700名の方々に見学いただいています。また、「環境学習室」を設け、工場見学を通して、リサイクルなどの環境に関する学習の場を提供しています。



## 出前授業で、 「環境学習応援隊」!

埼玉県で実施する「環境学習応援隊」に登録し、県内の小・中学校への出前授業を実施しています。リサイクルに関する学習の後には、実際にリサイクル製品に触れたり、分別体験ゲームを楽しんでもらったりと、リサイクルを身近な取組みとして捉えていただけるよう活動しています。

## Topic

### 小松原高等学校様の取組み

2005年よりエコ&ハローキャンペーンに参加されている小松原高等学校(埼玉県さいたま市)様では、交換した車椅子をさまざまな形で活用していただいている。2011年は、東日本大震災で被災された方々のお役にたてればということで、宮城県南三陸町・七ヶ浜町に寄贈されました。

同校の空缶の回収方法は、各教室ごとに缶の分別ボックスを設置し、美化委員が集積所に集めています。これにより、生徒への分別啓蒙と校内美化が図られています。担当する生徒指導部長の山下先生からは「今後も分別活動と、地域で活用いただける車椅子を贈る活動に取組んでいきたい」とのお言葉をいただきました。



## 民間企業初! 『ネットワーク型環境教育拠点施設』への認定

さいたま市は、環境教育を推進するために市内の環境施設、事業者、大学等と連携して、「環境教育拠点施設」を設置し、ネットワークを構築しています。2012年3月「リサイクル・プラザJB」は、民間企業として初めて認定されました。



## 第1回 「ぼくとわたしのリサイクル作文コンクール」を開催

2011年夏、「リサイクル・プラザJB」を見学した小学生を対象とした、第1回「ぼくとわたしのリサイクル作文コンクール」を開催しました。未来を担う子供たちに飲料空容器のリサイクルの現状を「見て」「感じて」いただき、リサイクルに対する考え方や、未来に向けて自分たちは何をすべきかなどを作文にしていただきました。優秀作品はホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.jbinc.co.jp/ecology/ecosakubun/index.html>



応募総数

106通



# 企業の垣根を越えて、 サステナビリティを目指す

ジャパンビバレッジグループは、企業連携によるネットワークを構築し、

1企業だけでは成し得ない循環型社会の構築を推進しています。

## 企業連携によるネットワークの構築

循環型社会の構築には、販売から資源再生まで他の企業との連携・協力が不可欠です。そのため、ジャパンビバレッジグループが発起人となり、大手飲料事業者18社が参加する「JB環境ネットワーク会」を発足いたしました。また、飲料空容器の適正処理や資源再生を効率的に行うため、全国180社の企業と連携した「リサイクルネットワーク」を構成しています。

### JB環境ネットワーク会

大手飲料事業者18社が会員となり、飲料空容器の循環型産業の構築と低炭素社会の実現を目的として発足した任意団体です。環境保全に関する調査研究および環境関連の知識・情報等の普及を図り、あらゆる環境保全活動を推進しています。

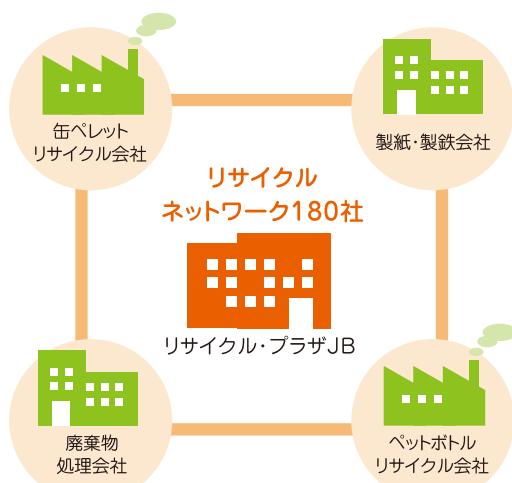
#### JB環境ネットワーク会 会員企業 18社 (五十音順)

アサヒ飲料株式会社	株式会社ドトールコーヒー
味の素ゼネラルフーズ株式会社	日本たばこ産業株式会社
大塚食品株式会社	ネスレ日本株式会社
カゴメ株式会社	株式会社ポッカコーポレーション
キーコーヒー株式会社	三井農林株式会社
キリンビバレッジ株式会社	株式会社明治
サントリーフーズ株式会社	UCC上島珈琲株式会社
東罐興業株式会社	和光堂株式会社
凸版印刷株式会社	ジャパンビバレッジ

[事務局] 株式会社ジャパンビバレッジエコロジー

### 全国180社とつながる 「リサイクルネットワーク」

「リサイクル・プラザJB」を中心施設として、全国約180社の廃棄物処理企業、リサイクル企業等に参画いただき「リサイクルネットワーク」を構成しています。各地域の企業と連携し、飲料空容器のリサイクルの効率的な資源循環を実施しています。



# シンポジウムの開催

JB環境ネットワーク会の活動報告と環境に関する情報発信・提供を行うため、これまでに5回のシンポジウムを開催しています。2012年1月に沖縄県名護市万国津梁館で開催した「沖縄シンポジウム」は、テーマに「美しい沖縄・美しい地球・美しい未来への架け橋」を掲げ、開催しました。

本会では、日頃沖縄の環境保全活動に取組む皆様（名護市立源河小学校・屋我地小学校・屋我地中学校・沖縄クリーンコーストネットワーク）に活動内容を発表いただき、美しい地球を未来へ引き継いでいくための大切なメッセージを発信する場となりました。また、発表いただいた皆様へ、日頃の活動に対し感謝の思いをこめて、感謝状と支援金の贈呈を致しました。



## 外部有識者による基調講演

シンポジウムでは、環境問題にたずさわる行政および有識者より基調講演をいただき、情報発信および提供を行っています。

これまで基調講演をいただいた方

- ◎国連環境計画 金融イニシアチブ特別顧問 末吉竹二郎 様
- ◎環境省 廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室長 様
- ◎農林水産省 総合食料局食品環境対策室長 様



# 平成23年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰

## 「農林水産大臣賞」を受賞

この表彰は、3R推進協議会が毎年実施しているもので、3Rに率先して取組み継続的な活動を通じて顕著な実績をあげている個人やグループを表彰することでこれらの活動を奨励し、循環型社会の形成推進を図ることを目的としています。



# 環境マネジメント・パフォーマンス報告

ここでは、ジャパンビバレッジグループの環境活動の基礎的な情報および定量情報を報告します。

## 環境方針 (一部抜粋)

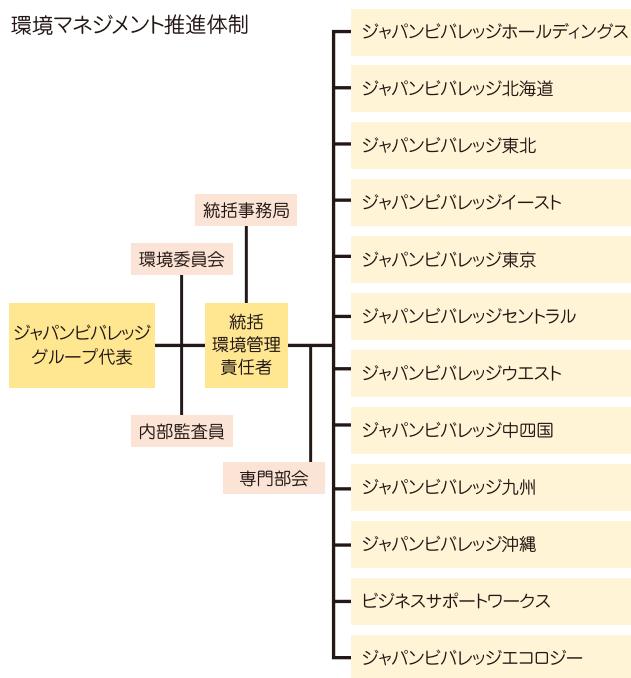
### 基本理念

ジャパンビバレッジグループは、地球環境が尊い資産であることを認識し社会に貢献する企業であり続けるために、事業及び社員一人一人の行動を通じ、あらゆる面での環境保全を積極的に推進し、潤いと喜びに満ちた持続可能な社会の創造を目指します。

## 環境マネジメントシステム

15

2000年度からISO14001の運用を開始し、2012年で取組み13年目を迎えています。現在は、グループ12社の本社・支店・営業所の合計119サイトで運用を行っています。



\*ジェイビーサービスは除く

## 社内環境研修

環境研修として、新卒社員研修、環境管理者研修、一般研修、内部監査員研修を実施し、力量の保持と向上に努めています。また、グループ各社において環境に関する情報共有や知識習得を目的とした研修を実施しています。

	新卒社員研修	管理者研修	一般研修	内部監査員研修
対象者	新入社員	環境管理責任者 エコ管理者 事務局 所属長 エコリーダー	全構成員	内部監査員
研修内容	ジャパンビバ レッジグループの 環境への取組み について	環境管理者として 果たす役割・責任 について	環境保全活動に 取組むための 知識を習得する	内部監査員の 養成及び能力 維持・向上を図る
受講者数 (2011年度)	142名	310名	全構成員	75名



## 廃棄物処理企業の現地確認

廃棄物の排出事業者の責任として、廃棄物の処理を委託している企業への現地確認を毎年実施しています。持ち込まれた廃棄物がどのようにリサイクルおよび適正処理されているかはもちろん、看板、所内設備等も確認しています。



## 内部監査の実施

内部監査員に任命された75名にて全119サイトの内部監査を実施し、環境マネジメントシステムの運用状況を確認しています。

## 環境目標と実績

### 「エコ度」の改善

ジャパンビバレッジグループ独自の管理数値「エコ度」を使用し、事業の要である自動販売機の他、車輌、事業所電力の環境負荷を二酸化炭素排出量におきかえて各「エコ度」を前年度比1%改善を目指して活動しています。

項目	エコ度	2011年度目標値	2010年度 エコ度	2011年度 エコ度	実績	評価
自動販売機の消費電力量	自動販売機の消費電力量による 二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) × 1,000 事業所売上(千円)	エコ度前年度比 1%改善	1,770.60	1,724.22	前年度比 2.6%改善	○
車輌の燃料 (ガソリン・ 軽油・LPG)	車輌の使用燃料による 二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) × 1,000 事業所売上(千円)	エコ度前年度比 1%改善	162.53	157.91	前年度比 2.9%改善	○
事業所 電力使用量	事業所の使用電力量による 二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) × 1,000 事業所売上(千円)	エコ度前年度比 1%改善	30.63	26.99	前年度比 11.8%改善	○

### 電力不足への対応

東日本大震災に起因する夏の電力不足に対応するため、全社的に節電の取組みを実施しました。特に、東京電力・東北電力のエリア内のサイト57拠点は2010年度比15%節電を目標に掲げました。

エリア	サイト数	2010年度 7~9月実績	2011年度 7~9月実績	削減率	評価
東京電力エリア	48サイト	1,375千kWh	1,143千kWh	16.9%	○
東北電力エリア	9サイト	88千kWh	66千kWh	24.6%	○
合 計	57サイト	1,464千kWh	1,209千kWh	17.4%	○

## 事業活動における資源投入量と排出量



[二酸化炭素の算出方法について]  
「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく換算係数を適用

# 環境マネジメント・パフォーマンス報告

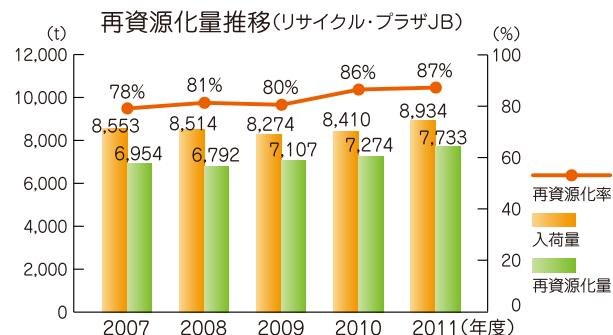
## CO<sub>2</sub>排出量推移

2011年度のCO<sub>2</sub>排出量は、ピーク時の2007年度に比べて8.5%減少しました。これは、小型カップ式自動販売機の導入、ヒートポンプ機の展開、車輌の変更や効率巡回等を実施したことによるものです。

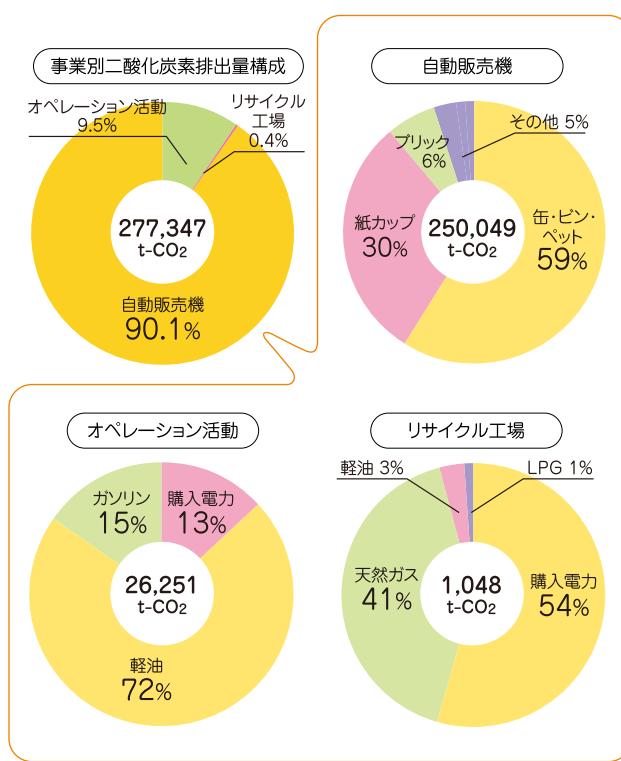


## 「リサイクル・プラザJB」による飲料空容器再資源化量

「リサイクル・プラザJB」の稼働当初の処理量は年間5,000トン程度でしたが、生産性の向上と設備の充実により、処理可能量は年を追うごとに向上しています。稼働9年目を迎えた2011年度の実績は、年間8,934トンを入荷し、7,733トンの再資源化を行っています。2011年度までの累計処理量は62,681トンとなっており、リサイクルの成果を上げています。

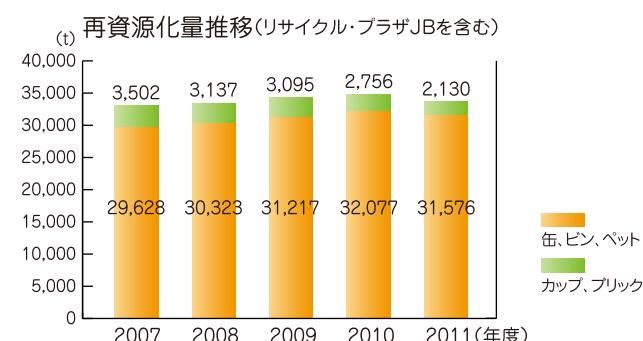


## 2011年度事業別CO<sub>2</sub>排出量構成比



## 全国での飲料空容器再資源化量

「リサイクル・プラザJB」が担当する東京都・埼玉県・千葉県・群馬県エリア以外の再資源化については、「リサイクルネットワーク」の各地域の企業と連携し、実施しています。これにより輸送などで発生する環境影響を最小限に抑制し、効率的な資源循環を実現しています。2011年度の缶・ビン・ペットボトルの再資源化量は31,576トン、紙製飲料容器の再資源化量は2,130トンとなっています。



## 各地域での取組み

### ★ 地域のイベントへ積極的に参加

#### | ジャパンビバレッジ沖縄

沖縄の美しい海と豊かな自然を守るために、行政やNPO法人が協働で開催する清掃活動に毎年参加しています。

##### 【2011年に参加した清掃活動（主催）】

- ◎「まるごと沖縄クリーンビーチキャンペーン」（沖縄クリーンコストネットワーク）
- ◎「漫湖チュラカーギ大作戦」（漫湖自然環境保全連絡協議会）
- ◎「国場川水あしひ」（那覇市他4市町）
- ◎「源河川清掃活動」（名護市源河小学校）



#### | ジャパンビバレッジエコロジー

埼玉県が実施する「ストップ温暖化SAITAMAフェア」に毎年参加しています。ジャパンビバレッジグループの環境への取組みについて分かりやすく伝えるため、環境保全活動の内容をパネル掲示したり、子供たちには楽しみながら環境について触れていただく「エコクイズ」等を行っています。



### ★ 屋上緑化でエコな事業所を目指せ！

#### | ジャパンビバレッジ東京 江東主管支店 ビジネスサポートワークス

ヒートアイランド現象の改善策として、屋上に約1,000m<sup>2</sup>の屋上緑化を施工しています。施工から3年目を迎え、立派な屋上緑化になっています。

屋上緑化  
約1,000m<sup>2</sup>



# 「Japan Beverage Report 2012」へ 皆さまのご意見、ご感想をお寄せください。

## Japan Beverage Report 2012 アンケート

お手数ですが、下記のアンケートにご回答いただき、FAXでご返送いただければ幸いです。

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー 環境部行 FAX:048-651-6611

### Q1 本レポートを読んでどのように感じられましたか？

- 全体評価 ————— 良い 普通 良くない  
情報量について ————— 充実している 普通 もの足りない  
内容のわかりやすさについて ————— わかりやすい 普通 わかりにくい

### Q2 本レポートのなかで関心のあった内容をお聞かせください(複数選択可)。

- ジャパンビバレッジグループの概要(p1)  
トップメッセージ(p3-4)  
ジャパンビバレッジグループの事業紹介(p5-6)  
ジャパンビバレッジグループの取組み  
自動販売機を通して、エコソリューションをお届けする(p7-8)  
飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」(p9-10)  
より良い未来にむけ、子供たちに伝えつづける(p11-12)  
企業の垣根を越えて、サステナビリティを目指す(p13-14)  
環境マネジメント・パフォーマンス報告(p15-17)  
各地域での取組み(p18)

### Q3 ジャパンビバレッジグループの取組みについてのご意見・ご感想、 良い点や改善すべき点などについてお聞かせください。

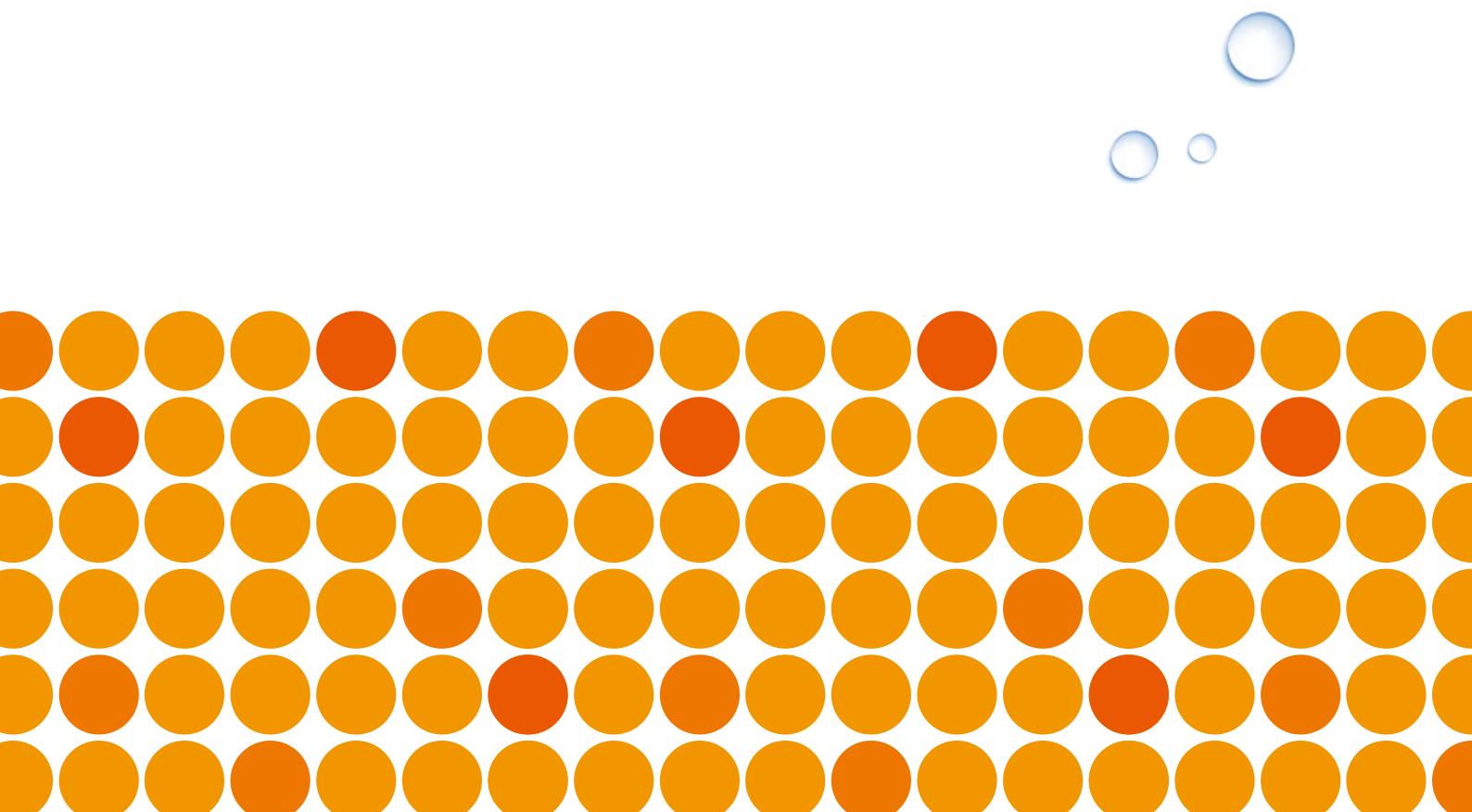
[ ]

### Q4 どのようなお立場でお読みになりましたか。

- お客様 近隣住民の方 お取引先 政府・行政関係 教育・研究関係  
金融・投資関係 NGO・NPO 報道機関 企業のCSR・環境担当者  
ジャパンビバレッジグループの社員・家族 学生 その他( )

### Q5 あなたのプロフィールについてお聞かせください。

- 年 齢 ————— 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上  
性 別 ————— 男性 女性



●発行・お問い合わせ先

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー 環境部  
〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目272番地5  
TEL:048-651-1179 FAX:048-651-6611  
ホームページ <http://www.jbinc.co.jp>

**ジャパンビバレッジグループ**



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用したFSC認証用紙を使用しています。

